

## 知事講評

子供議員の皆さん、大変お疲れ様でした。初めての経験で、みんな緊張したのではないかと思います。

皆さんが広島県の未来のために一生懸命考えて、しっかりと、この議場で発言していただいた姿を見て、とても頼もしく感じたところです。今日のために勉強を重ねてくまして、本物の議場において登壇して発表するという事は、とても貴重な経験だったのではないかと思います。

私たちも、皆さんの意見や提案をしっかりと受け止めて、大いに参考にさせていただきたいと思います。

今、皆さんもご存じのとおり、日本でも世界でも、そしてもちろん広島でも、新型コロナウイルス感染症に大変苦しんでいます。そして、日本では人口減少も非常に大きな課題になっています。また、デジタル技術が急速に進展したり、大規模な災害が発生するなど、先行きがとても見えにくい、不透明な、変化の激しい時代の中にいるということだと思います。

こうした中であっては、一人一人が主体的に——主体的にというのは、人から押しつけられるのではなくて、自分のこととして、生涯にわたって学び続けるということが必要だと思います。そして、世の中にはたくさん、いろいろな人がいますので、そういったいろいろな人と協働して——一緒に働いて、新しい価値を創っていくことが、これからますます求められていくと思います。

皆さんには、この子供議会の体験だけではなくて、これからも社会に対して関心を、自分のこととして持ち続けていただきたいと思います。そして、できれば、今日体験したことを多くの友達に伝えてもらって、将来の広島県について一緒に学んで、考えていただければと思います。

皆さんがそれぞれの学校や地域で一生懸命いろいろなことに取り組んで、将来、広島県の発展を引っ張っていく、リードする人材になることを心から願っています。これからも頑張ってくださいと思います。

また、本日、傍聴いただきました保護者の皆様方、改めて厚く御礼申し上げます。子供たちのすばらしい質問や提案に、大変頼もしく思われたのではないかと思います。今後とも、子供たちの心豊かでたくましい成長に向けて、どうか御協力をお願い申し上げます。

たいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。